

料理部 チャリティーバザー 開催



▶ホットドッグとスープを販売する料理部員



▶笑顔で商品を受け取られる総合教養講座の講師の方々



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

12月8日に料理部によるチャリティーバザーとしてホットドッグとスープの販売が行われ、料理部員たちは290個を売り上げた。今回の売り上げ金1万9700円は『歳末助け合い』に寄付される。スープには玉ねぎやキャベツ、大根、にんじろんなどが入っており、購入した生徒からは「具だくさんで色合いが良くとてもおいしかった」「寒い時期なので温かいスープが体の芯まで温めてくれた」などの感想が寄せられた。

部長の小西優樹さん（2-4）は気をつけたことについて「販売するのと同時に商品を作るのとちよつとしたミスがそのまま出てしまうので、衛生面に気をつけた」と話した。また小西さんは「販売するのと同時にホットドッグを作るといった新たな試みだったが、楽しく行うことができ

顧問の高砂奈緒美先生は「良いチームワークで流れ作業をスムーズに行うことができていたし、部員たちは愚痴一つ言わずに作業を行っていた。チャリティーの心を汲みとることができていてすばらしいと思った」と話された。そして最後に高砂先生は「温かいものがないという意見を参考にしてメニューを考えたが、思いのほか売れ行きが悪かった。しかしスープはキャベツがたっぷりだったし、ホットドッグのソーセージの味も良かったので満足している」と笑顔を見せられた。



▲商品を手に見せるサッカー部員